

文書名	管理番号	承認	確認	作成
環境 Report	8000-00-A025	林	栗田	北島

Environmental Report



(株) 木原製作所
2025.7~2026.6

環境方針

経営理念を実現し、具体的に実践する経営活動の一環として、以下について取り組みます。

- 1.当社の扱う製品、サービス及び事業活動において、環境への負荷低減をはかり、地球環境保全及び汚染防止に努めます。
- 2.環境パフォーマンス向上のため、環境目的、目標を設定し、その達成に向け、定期的にレビューし、継続的改善をおこないます。
- 3.法規制、協定、組織が同意するその他の要求事項、及び当社の自主規制を順守します。

2017年6月1日

株式会社 木原製作所

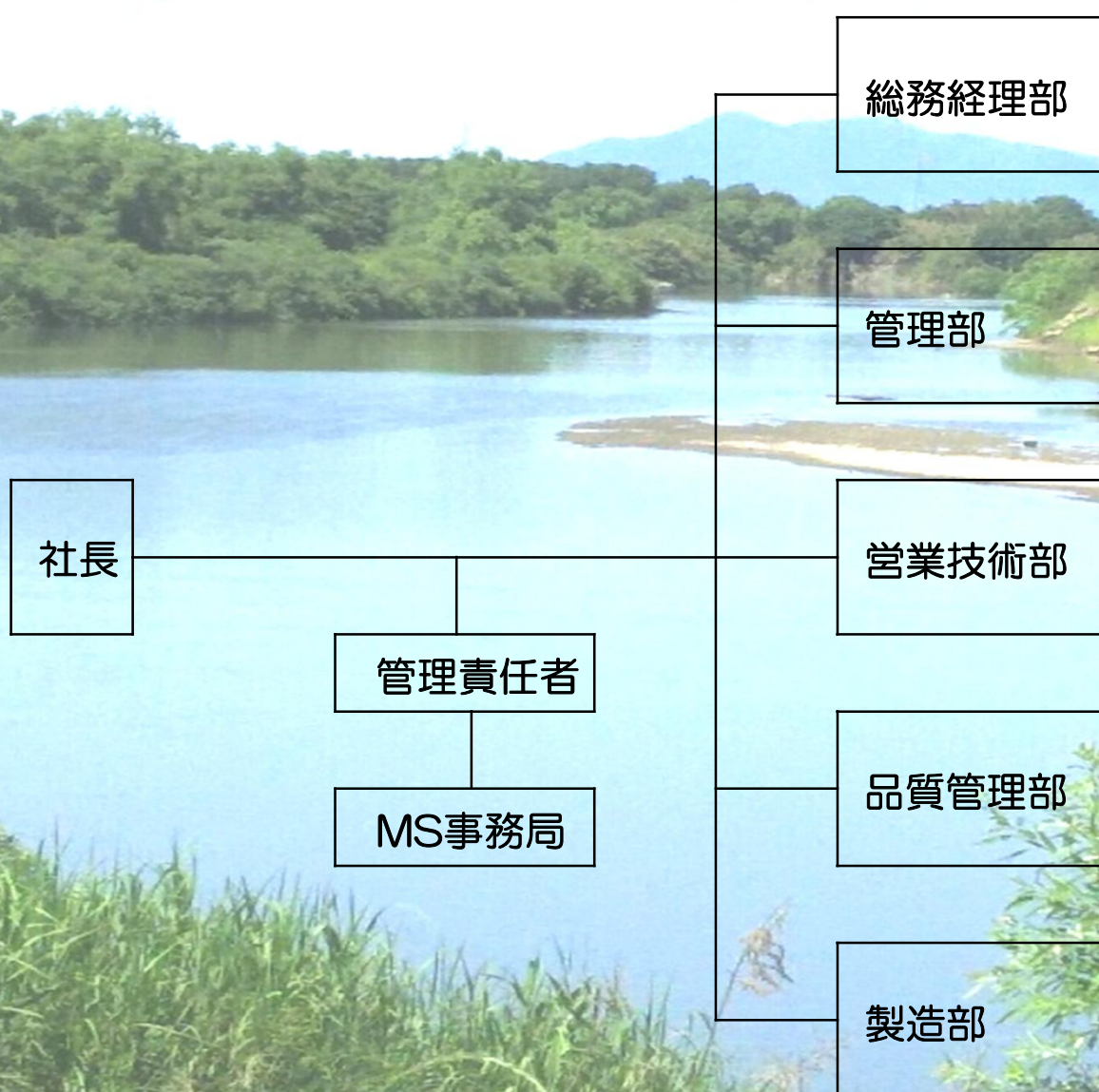
代表取締役社長

林 晃弘

環境組織（2026年6月現在）

経営者

推進責任者



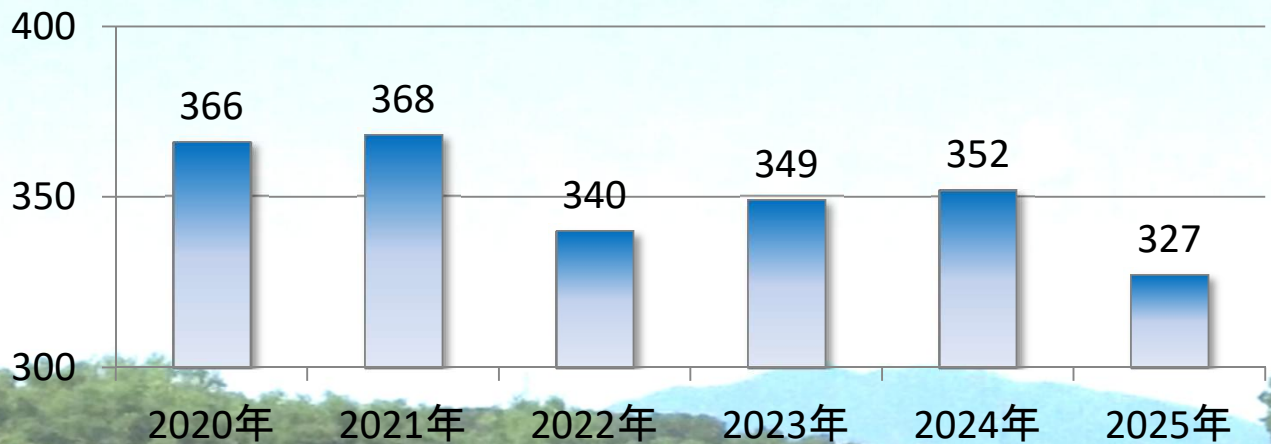
環境目的及び目標

環境目的		環境目標				
		2022	2023	2024	2025	2026
1.消費電力削減	率 %	△14	△15	△16	△17	△18
	原単位 kwh/月	396	392	388	384	380
2.廃棄物削減	率 %	△15	△15	△15	△15	△15
	原単位 kg/月	50	45	45	45	45
ゼロ エミッション	率 %	3	3	3	3	3
3.スクラップ量削減	率 %	△14	△15	△16	△17	△18
	原単位 kg/月	90	89	88	87	86
4.緊急時対応訓練の実施 (対象工程1回/年)		●	●	●	●	●
5.コミュニケーション 内部（隔月） 外部（毎月）		●	●	●	●	●

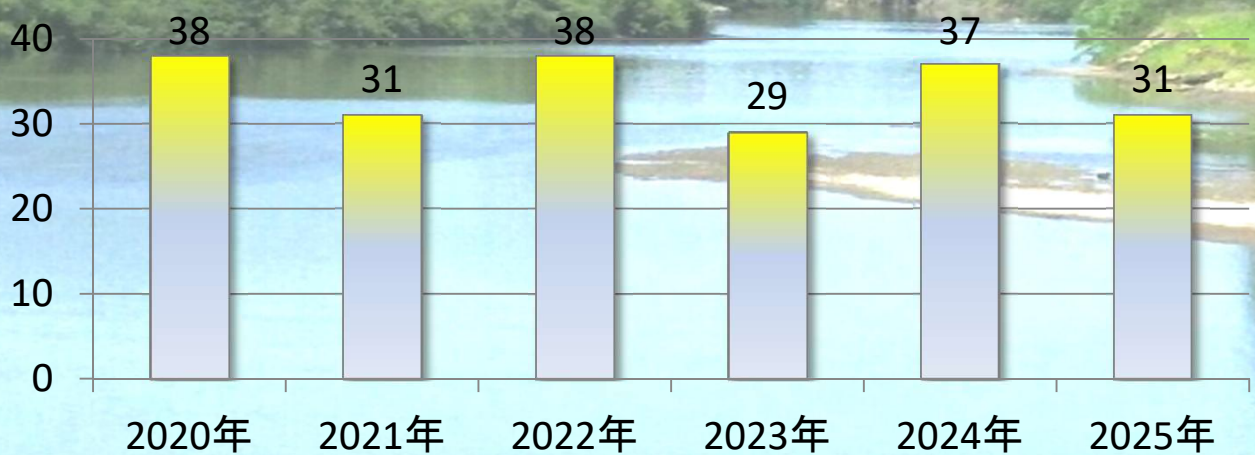
*ゼロエミッション=埋めたて処分量/全廃棄物量

環境活動実績

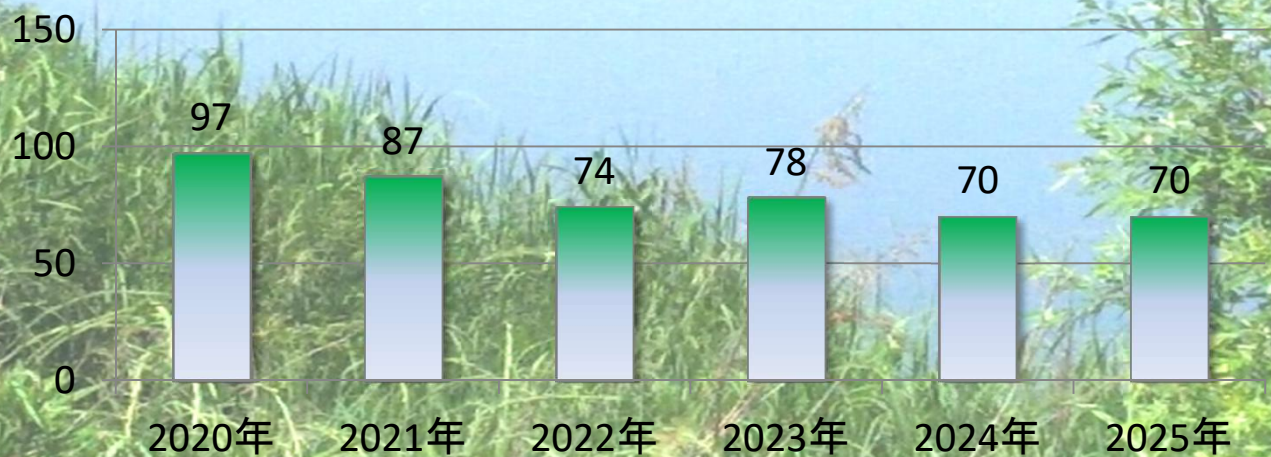
1.消費電力原単位 kwh



2.廃棄物量原単位 kg



3.スクラップ量原単位 kg



環境活動実績

4.緊急時対応訓練実施 (全12工程)



SDS勉強会

5.外部コミュニケーションの 一環として敷地周り清掃を 実施（毎月一回）



主な活動事例

2012夏 工場照明LED化

- ・LED水銀灯
- ・LED蛍光灯

2013春 工場毎デマンド監視スタート

2013夏 燃料変更（灯油⇒都市ガス）による
CO₂発生量削減
効果：△127 t/年（△29%）

2014夏 太陽光発電スタート

2016冬 一部職場2シフト稼働開始（17/2～）
夜間騒音対応

2018夏 スクラップ低減部門横断チーム活動
Kick Off（1-2回/月）

2019夏 茨城エコ事業所登録

2021夏 菅生沼環境保全活動「考える会」に入会

タチスミレ群生地



主な活動事例

2021春

「菅生沼を考える会」に入会

2026夏

茨城工コ事業所登録 AAA・Sへ変更

毎年 秋

「菅生沼一斉清掃活動」に参加

毎年 1月

「菅生沼野焼き活動」に参加



毎年 5月

「タチスミレ観察会」に参加

